

(別紙2 - 1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 8 月 12 日

### 【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4271401822		
法人名	社会福祉法人 楽々会		
事業所名	グループホーム 楽苑		
所在地	〒859-1402 長崎県島原市有明町湯江乙 1138		
自己評価作成日	平成 24 年 7 月 31 日	評価結果市町受理日	平成 24 年 9 月 24 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

### 【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階		
訪問調査日	平成 24 年 9 月 6 日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

全員が女性スタッフで、チームワークも良く取れており、きめ細かなサービスを提供しています。職員の決まった制服がなく、利用者と職員という関係でなく、共に生活する家族みたいな雰囲気作りが出来ています。

自然に囲まれた環境の中、苑内にて、ウサギ、犬、ヤギを飼い、利用者の方との触れ合いにも役立ち“いやし”の一環になっています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

自然豊かな場所に立地し、地域との繋がりも大切にする、地域に根ざした安定感を感じさせる。玄関先では利用者の温かなお出迎えがあり職員・利用者共に笑顔が絶えない、心の安らぎを感じるホームである。敷地内には小規模多機能型事業所が併設されており事業所同士の交流や非常時の連携体制が明確になされている。開設より8年が過ぎ、利用者の高齢化が進むなか、徐々に外出が難しくなってきた現状もあるが、ホームでのレクリエーションなどを充実させ、今を楽しめるようにと親身になって利用者に寄り添う姿勢と、職員に囲まれながら会話を弾ませる利用者のおふれる笑顔が印象的で、今後益々の発展が期待できる事業所である。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「楽苑は楽しい苑楽しくなければ楽苑じゃない」という理念のもと常に心掛けて取り組んでいる。	「個性やそれぞれのいいところを認めあいながら過ごしていこう」と日頃から理念について話し合いがなされており、日々利用者に関わる中でも具現化されている。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園からは七夕の慰問、婦人会からも踊りの披露に来られ、近隣の小学生が遊びに来たり、地域の消防訓練に出席したりと日常的に交流している。	保育園やボランティアとの交流もあり、地区の敬老会へのお誘いも受け利用者として出席の予定である。町内の文化祭にも毎年参加し、華やかな衣装で地域の方も楽しみにしている。緊急時はホームのAEDを使ってもらうようにも伝えている。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	敬老の日には各地域の自治会を訪問し、演芸を披露、町の文化祭で舞踊を披露している。また地域の方を対象とした健康体操を定期的に行っている。	/	/
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	ニヶ月に一度、地域包括支援センター職員、町内老人会長、利用者の家族の方々を交えて、現状報告、サービス内容について意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	定期的に開催される会議では現状報告の他、試食会や権利擁護の勉強会などが実施され、報告だけにとどまらず困難事例の相談や助言をもらう等、有意義な時間となっている。	
5	4	<b>市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町の文化祭では市の公共施設を活用させて頂き、そういう場でサービス内容を伝えたり、相談事で市の窓口に向いたり協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃から市町との連絡や相談のやり取りがあり、地域の方を対象に健康体操や楽苑主催で、グランドゴルフ大会を実施し情報交換しながら協力関係を築いていくように努力している。	

6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っておらずに日中は玄関の施錠も行っていない、玄関にはセンサーを取り付けており全職員が気に掛けて対応するよう努めている。	問題行動のある利用者に対して、日頃の会話や行動パターンを把握し、家族や職員全体で話し合い検討することで、行動を制限せず、見守り・付き添うことを大切にしている。	
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員が虐待はあってはならないことを理解し行っていない、言葉や態度に対しても注意を払い防止に努めている。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括支援センターのもと、権利擁護等について学ぶ機会があり必要性を感じる方には話し合い活用出来る用支援している。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には事前にホームを見学して頂いたり、契約時にも利用者や家族の要望等を十分に伺い、話し合い説明を行ったうえで理解や納得を図っている。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時には話をさせて頂いたり、玄関近くに意見箱、アンケートの設置をし、外部へ表せる機会を設けている。苦情処理ノートも作成し運営に反映させている。	日頃からふれあいを大切にし、出来る限り家族の希望に添えるようにしている。苦情処理ノートには、ちょっとしたことや気づきも記載し職員間で情報を共有し、全体で解決策を考え運営に反映させている。	現在、家族会がないことから個々の内面的な満足度が見えにくい状況にあるため、家族アンケートを実施することで現状を確認、理解し、よりよいサービスの提供に繋がると思われる。今後の取り組みに期待したい。
11	7	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎朝の申し送りや職員会議などせ意見交換を行い、日常的にも職員間で話し合い、意見の反映に繋げている。	毎月の職員会議のほか、日頃から申し送りや休憩時間・ノートなどを利用し、職員間で活発な意見交換が行われ、発言しやすい雰囲気作りや意見の反映に配慮されている。	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の能力や実績などを把握し、職員が向上心を持って働けるよう環境、条件の整備に努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各自の能力、力量を把握し、外部研修の参加を促すことにより各自の意識向上に繋げている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>講習会や勉強会、研修会を通じ、お互いの意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の要望や不安なことについて話を聞き、本人が安心して生活できるよう努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の要望や不安なことについて相談し本人、家族とも安心できるよう努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族が今必要としている支援を見極め、一番良いサービスが出来るよう対応に努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の能力にあった役割を見つけ、介護されるだけでなく一緒に何かをやり遂げたり生活を共にする関係を築いている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の面会時にはその時間を大切にしてもらったり、一緒に外出したりするなど本人と家族の絆を大切にしながら支援に努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人が気軽に遊びに来られたり、行きつけだった店に買い物に出かけるなど関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	<p>隣接した事業所より友人の訪問があったり、定期受診の機会を利用して買い物を楽しんだりしている。家族支援で、初盆・初正月時の帰省や墓参りなどで外出され、関係を継続できるように援助している。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係を把握し共に生活する場で支えあっているよう支援に努めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>近くに入院された方には、お見舞いに行ったり、施設外にて家族の方にあたりした時はその経過を伺うなど相談や支援に努めている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>話の中で本人の思いや希望、意向の把握に努め、困難な場合は態度や言葉の流れの中で把握に努め検討している。</p>	<p>普段から利用者に寄り添い、会話の中から思いを把握し、意思疎通が難しい利用者に対しては表情やしぐさの中からその人に合った対応ができるよう職員間でも話し合いの機会が持たれ実践されている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時に本人の生活歴や生活環境など、本人や家族から詳しく聞きこれからのサービスに役立てるよう努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人の一日の過ごし方、様子、能力などの現状をカルテに記録し把握に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の思いや願いなど生活していく中で見出し、本人、家族と話し合い意見交換を行いながら介護計画を作成している。</p>	<p>介護計画は3ヶ月毎に職員がそれぞれ分担して作成されており、職員みんなで作り上げていくものとなっている。プランを実践することで新しい可能性を発見することもあり、本人や家族の願いに近づけるようなプラン作成を行っている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々のカルテに日常の様子、気付きケア内容等記録し、職員間で情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>小規模多機能ホームが併設しており、その人にあった支援を見極めよりよいサービスの提供に取り組んでいる。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の自治体や消防団との連携も取れており、本人が安全に暮らしていけるよう支援している。</p>		

30	11	<b>かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医の受診をしており、事情にて出来ない場合は本人家族に相談のうえ適切な医療を受けられるようにしている。	入居前のかかりつけ医を受診し、ホームと医療の連携を大事にしている。近年透析や在宅酸素など医療との連携が重要な利用者もあり、職員が透析栄養指導を受けに病院に出向くなど、食事面でも適切な対応ができるようにしている。	
31		<b>看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師連絡ノートも作成しており、日常の情報気づきを記録し、看護師に報告している。利用者の相談や適切な受診が受けられるよう支援している。		
32		<b>入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際は、病院関係者との情報交換、相談に努めている。本人が入院中も安心出来るようお見舞いに行ったり支援している。		
33	12	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、日頃から職員間で話し合い家族にも十分に説明しながら支援に取り組んでいる。	近年、利用者の高齢化に伴い終末期の対応に関して日頃から話し合いがもたれている。希望があればホームでも対応する方針であり、これまでも畳の間を利用して家族と共に看取りを行った経験がある。	
34		<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署のお願いし定期的に救急指導を行っている。病院ともすぐに連絡が取れるようにしている。		
35	13	<b>災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の立会いのもと避難訓練を実施している。火災通報装置にて消防署、地域消防団にも連絡が行くようになっており、協力体制を築いている。	年に2回消防署の立会いのもと、訓練を行っているが日常的に火災、災害時の避難経路等の話し合いが行われている。小規模との緊急時の連携体制や避難誘導の役割分担が明確であり、災害時の持ち出し品も準備がなされている。	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者が今思っている現実等、否定せずプライバシーを損ねない、その人にあった言葉かけや対応に努めている。	個々の利用者に添った言葉かけに配慮し、なるべく否定しないように心がけている。女性利用者の割合が多い事から、先日は法人内ではじめて男性利用者だけの食事会を実施し会話の時間を楽しまれた。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや希望を表したり出来る用、対応や言葉掛に努め難聴の方には筆談やジェスチャーなど自己決定できるように働きかけている。	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の一人ひとりのペースに合わせた過ごし方が出来るよう入浴日や食事時間など希望に添って支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	年に数回、美容師さんに来てもらいカットやパーマが出来るようにしている。本人の希望で職員にてカットもして、その人らしい身だしなみの支援をしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の見た目や盛り付け、器の工夫など考えながら提供している。準備や片付けなどは無理ですがテーブルを拭いたりお絞りを畳んだりと簡単なお手伝いをしてもらっている。	1日、15日はお刺身・お赤飯の日と決まっております利用者も楽しみにしている。ユニットごとに異なる献立の食事が提供され、柏餅等手作りおやつも利用者と共に作り楽しめるようにしている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合わせた食事、水分量、減塩食などの栄養バランスを考え、その人に応じた支援をしている。	



42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後のうがい、歯磨きは一人ひとりに合わせ、入れ歯の方にはポリドントも行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>定期的にトイレ誘導を行い出来るだけトイレにて排泄出来るよう、本人の排泄パターンをつかみ支援している。</p>	<p>日中は定期的にトイレ誘導し、トイレでの排泄を促している。定期的な言葉かけによって退院時リハビリパンツ使用だった利用者が、本人の希望で布パンツに変更した利用者もいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便チェック表にて毎日の排便の有無を確認し、その人に応じた対応で薬の調節や食事の工夫運動への働きかけなど行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>毎日入浴可能であり、入浴前に本人に伺ったり、体調も把握し行っている。否定される方には後でもう一度声をかけたり誘導するなど行っている。</p>	<p>毎日入浴が実施され一人ずつ入浴している。拒否する利用者に対しては時間をおいたり職員が交代で声かけする等で、入浴不足にならないようしている。ゆず湯や菖蒲湯などの季節の湯も実施され利用者も楽しみにしている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ホームのいたる所に椅子、ソファ、テーブル、リビング内には畳み間などあり一人ひとりがリラックス出来る場所を見つけて安心して生活できるよう支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬はすべてホーム管理、お薬ファイルを作成しており、いつでも確認出来るようにしている、服薬時にはかならず見守り、確認を行い症状の変化を見逃さないようしている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日常生活のなかで本人の力量に合わせ編み物や裁縫をお願いしたり、歌や踊りが好きな人には一緒に楽しく、その人に合わせて支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるるように支援している</p>	<p>買い物の希望があった場合は、日時を決めて外出したり、家族の協力があり、外食や花見と一緒に外出したりする機会もある。</p>	<p>時期をみてフラワー公園で季節の花を見物したり雲仙へ出かけたりとしているが、最近はだんだんと難しくなってきた。ホームで飼っている犬の散歩や玄関先での外気浴を実施することで気分転換を図っている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理は家族に任せている、本人が買い物をしたいときは小遣い金額をお渡しし、自分で使う事が出来るよう支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>いつでも電話が使えるようにしている。手紙も字を書けなく代筆を頼まれたりなどし、いつでも出せるよう支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>有線放送の設置もあり昔懐かしい曲や落ち着いたリラックスできる曲など流し、不快になりにくいようしている。建物の天井自体も高く、光のバランスも考え心地よい空間で過ごせるようしている。</p>	<p>建物全体が木のぬくもりに包まれ天井も高く開放的である。居室の中心に中庭があり大きな窓からは季節の移ろいを感じる事が出来る。台所からの音や香りがリビングを包み穏やかな印象を感じさせる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホームの至る所に椅子、ソファ、テーブルを設置しており、一人ひとりが居場所を見つけ自由な時間を過ごせるようにしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前から使用している家具類の持込も可能で使い慣れたものに囲まれ本人が居心地よく過ごせるようにしている。	居室入口にはレースのカーテンが設置され各々に使い慣れたタンスやテレビ、鏡や冷蔵庫の持ち込みもある。家族が育てた鉢植えも飾られており 来訪した家族も共に寛げる空間にも配慮されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し自室のベットにも起き上がりしやすいよう手すりを設けたりと本人が自立して生活がおくれるようにしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップ に向けて期待 したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>「楽苑は楽しい苑、楽しくなければ楽苑じゃない」という理念を作り、その理念を心掛け楽しい雰囲気作りに努めている</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>毎年、町の文化祭に参加したり、この事業所自体も「子供100当番」として利用して頂いている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の方を対象にした健康体操を行ったり、敬老の日には各自治体を慰問したりしている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一度、市町村職員、自治会長、利用者の家族の方を交えて会議を行い、報告や話し合いをして、サービス向上に努めている。</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>文化祭や運営推進会議、事業所独自の健康体操等により、市町との交流を行い協力関係を築くよう努めている。</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員、身体拘束をしないケアを心掛けており、玄関の施錠もしておらずセンサーにて対応している。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についての勉強の場を持ち、自宅や事業所内での虐待が無いよう注意を払っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>地域包括支援センター指導のもと、権利擁護や成年後見制度について学ぶ機会があり、必要があれば活用出来るよう支援している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前には、必ず十分な説明を行い家族からも疑問点や不安なことを尋ね、理解、納得を図っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設けたり、苦情処理ノートを作成しており、それらを運営に反映させている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝の申し送りの時間に意見を交換したり、普段から職員間で話し合いをしたりしている。</p>		

12	<p><b>就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>全職員の努力や実績、勤務状況を把握し、やりがいをもち働けるよう職場の環境や条件の整備に努めている。</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の力量を把握し、研修に参加してもらうことにより、更なる能力の向上に努めている。施設内でも研修の機会を設け意識向上につながっている。</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>研修や、講習会を通じて、交流する機会をつくり意見交換することによりサービスの質の向上につなげている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>不安な事や要望などに耳を傾け本人が安心して生活出来るような関係づくりに努めている。</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所時の段階で家族からの要望や相談に応じ信頼関係を築けるよう努めている。</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族の「その時」の状況状態を見極めそれに応じたサービスが出来るよう努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護する側、介護される側という立場だけでなく、同じ空間を共にする者として料理や色々な場面で昔の知恵をお借りしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会に来られた際に本人様の状況を報告したりコミュニケーションを取ることで、共に本人を支えていく関係作りをしている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>馴染みのひとがきがるに来て頂けるような環境作りを心掛け、家族との外出時も気軽に応じている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>それぞれの利用者の性格を把握してリビングの席順を考えたり、仲介役をしたりして、良い関係が築けるよう努めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービスが終了しても、入院されている方の所へはお見舞いに行ったり、外出先で家族にあった時は経過を尋ねたりしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>その人らしい暮らしをして頂く為一人ひとりの生活スタイルや意向に合わせられるよう検討している。</p>		



24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴、病歴等、主治医や家族を通じ把握に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの日常生活をカルテに記入し、スタッフ全員が内容経緯がわかる様に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日常生活の中で本人の願いを見出し、スタッフ同士で話し合いアイデアを出しあいケアプランを作成している。</p>		
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>三ヶ月に1回はケアプランの見直しを行い家族の意見もふまえ現状にあったプラン作成に努めている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>デイサービスが隣接してある為自由に行き来が出来、希望時にはマッサージ器等利用してもらっている。</p>		

29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の消防団ともすぐに連絡が取れるようにしており共に火災訓練を行う等して一人ひとり安全に暮らしを楽しむように努めている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所後、受診する時のことを考え前々よりかかりつけ医へそのまま保てる様、本人家族の方が不安にならないよう支援している。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>本人の体調様子を話し合い、第一に即バイタルチェックを行い報告し、指示を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>スタッフが病院へ出向いて行き正確な情報を聞き、本人へも不安なく安心して頂けるようスタッフも交代で足を運んでいる。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>病院より本人の体調の説明を受けた後、どの段階までホームで見届けが出来るか、家族、ホームスタッフで話し合いを行っている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応や、救急手当で(心臓マッサージAED)の使い方を職員全員できるように受けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災時の非難訓練を年に2回程、地域の消防団の方が来られ行っている。非常口、消火器の使い方、通報の仕方など行っている。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言動、行動を否定せず、一人ひとりにあった会話を心掛けている、もし心外された場合は、特に気をつけた言葉掛に勤めている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望が現実なものになるよう難聴の方は筆談、ジェスチャーにて理解を深める、その人に合った言葉、行動に注意して支援している。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの時間を大切にして、趣味であったり、テレビ観賞や運動だったり希望できるように心掛けている。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2、3ヶ月に1回、専属の美容師によりカット、パーマの利用、希望により行き着けだった美、理容室の送迎を行っている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お盆の配膳を一緒にしたり、おしぼりを畳んだり、野菜の皮むき、衣つけなど手伝って頂き、スタッフとコミュニケーションを取り会話を楽しまれている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	透析通院の方がいらっしやるので栄養管理や水分量を把握してお出ししている。他の方も体質を見極め、その人にあった量を提供している。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	三食後のうがいを怠らず、必ず就寝時はポリデント洗浄に努めている。

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>日中は時間を見計らってトイレ誘導にて排泄を体感して頂き、失敗を無くし、自立心を養って頂く。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>まめに時間を見て水分補給をし食事には繊維物を多く取り入れている。加えて体を動かしてもらつ為、リハビリ運動を提供している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>その人に合った入浴法にて時間をかけてゆっくりと楽しんで頂く、無理強をせずその人を尊重する。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>生活環境が違うので個々に合わせあまり干渉せず見守りの形を取り良眠できるよう日々違ったレクリエーションの提供をしている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>定期健診には同行し、診察の結果を把握し、職員同士連絡を取り合い、落ち度がないようにしている。処方せんファイルを作成しすぐ解する所に保管している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の趣向を引き出し、時間を確保し喜びがある生活を提供している。リハビリ体操、ゲーム、季節ごとの催しを楽しまれている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>行きたいと思ったとき、行きたい場所など希望される時は送迎など行き、外に出る機会を増やすなど支援している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>まだまだ自分ひとりで買い物をし、お金の支払ができると言う喜びを残しておきたいとの思いから見守りにて同行して買い物をしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自由に使用できるよう支援している。自分用の携帯電話も使用できるなど字が書けない人は代筆をお手伝いしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各部屋はフローリングの為ベッドでの生活だが、時には畳にてくつろいで頂く為、居間の畳間を作っており、ゆっくりと横になったり、又掘りごたつにして家庭的な雰囲気を保っている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人になれる空間を提供できるようあらゆる所に椅子やテーブルを設置し日向ぼっこや考え事、気の合う者同士でゲームなど等、自分流に生活出来るよう支援している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家に居た時に愛用された物、使い慣れた物を持ち込んで頂き家に居た様な感じで生活して頂く、亡くなられた方の仏壇等も持ち込みにて生活支援している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ等に手すりを設置、自分の部屋が解る様な前をつけたり、自力にて起き上がりが出来る様ベッドは手すりを設けたりできるだけ自力にて生活できるよう提供している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない